

① 太陽光発電システムの自立運転・非常電源の使い方について

停電時の昼間は自立運転専用コンセントを利用して電気機器を使用することができます。

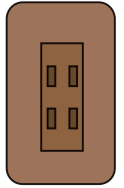
※自立運転は太陽光発電中にご使用できますが夜間のご使用はできません。

自立運転モード シャープ製

停電した時に自立運転専用コンセントを利用して電気機器を使用することができるのが自立運転です。自立運転モードで停止中に「運転／停止」スイッチを押して運転を開始します。「運転／停止」スイッチを押すと、運転の準備を行ってから運転を開始します。自立運転でお使いになる電気機器は、自立運転専用コンセントに接続してください。

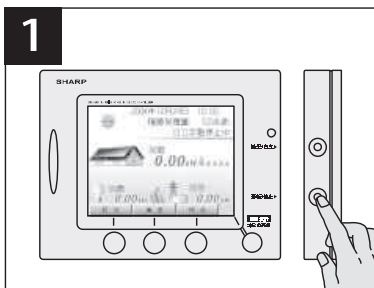
自立運転専用 コンセント

通常のコンセントと色が変わります(茶色)

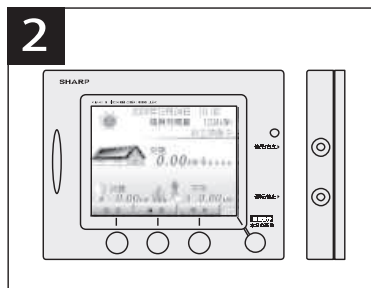


自立運転の使い方 シャープ製

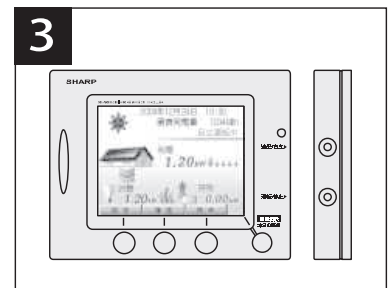
シャープ製



「運転／停止」スイッチを押します。連系運転モードで停止している時は、「自立手動停止中」と表示されます



「自立準備中」と表示され、パワーコンディショナーが運転の準備を行います



運転の準備が整うと、約3秒後に運転を開始します。「自立運転中」と表示されます

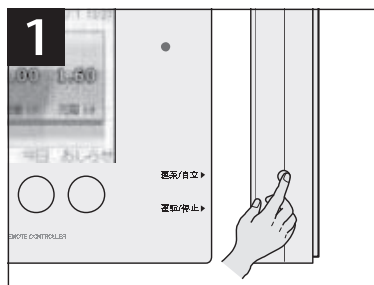
【結晶用】

連系／自立運転の切り替え方法 1 シャープ製

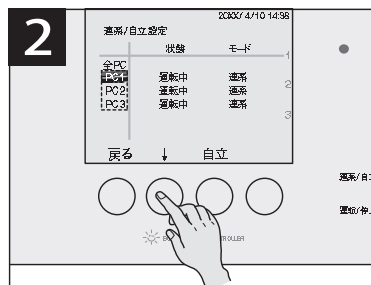
シャープ製

パワーコンディショナーが複数台ある場合

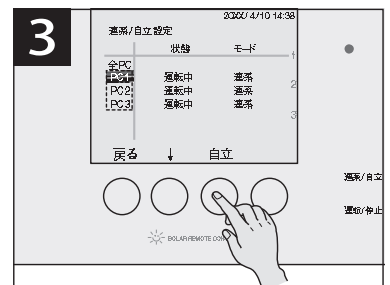
自立運転モードにする時は連系運転を停止します。
連系運転モードに戻す時は、自立運転を停止します。



「連系／自立」ボタンを押します。連系／自立改定両面が表示されます



ディスプレイの下部に表示されている「↓」の下にあるボタンを押します。操作可能なパワーコンディショナーの名前は黒字で表示されます



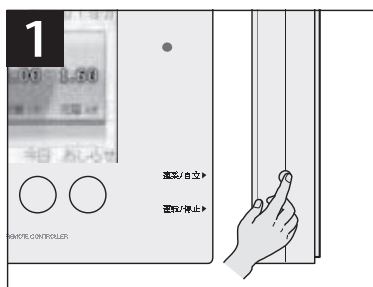
自立運転モードにする時は、ディスプレイの下部に表示されている「自立」の下にあるボタンを押します。連系運転モードにする時は、ディスプレイの下部に表示されている「連系」の下にあるボタンを押します

連系／自立運転の切り替え方法 2

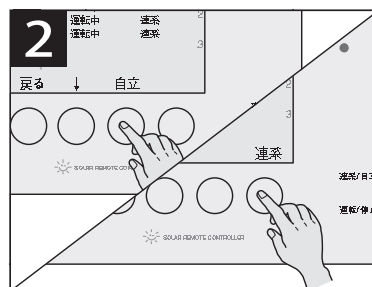
シャープ製

パワーコンディショナーが1台だけの場合

自立運転モードにする時は連系運転を停止します。
連系運転モードに戻す時は、自立運転を停止します。



「連系／自立」ボタンを押します。連系／自立設定画面が表示されます



自立運転モードにする時は、ディスプレイの下部に表示されている「自立」の下にあるボタンを押します
連系運転モードにする時は、ディスプレイの下部に表示されている「連系」の下にあるボタンを押します

自立運転出力用コンセント

自立運転時に発電した電力を取り出します

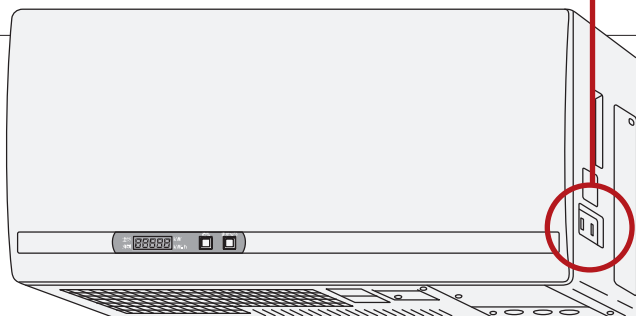
運転設定

京セラ製

運転モードは「連系運転」と「自立運転」があります。通常は「連系運転」でかまいませんが、停電時は「自立運転」に切り替えてご使用ください。

自立運転モード

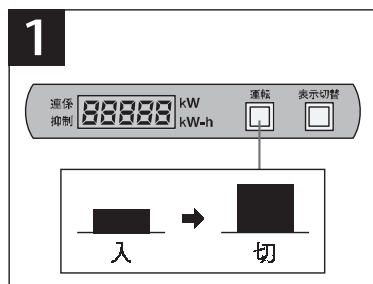
停電した時に自立運転専用コンセントを利用して電気機器を使用することができるのが自立運転です。自立運転専用コンセントからはAC100V、最大1500W（出力合計）が供給されます。ただし、日照条件により発電量が少ない場合は1500Wまで使用できない場合があります。



自立運転の使い方（停電時）

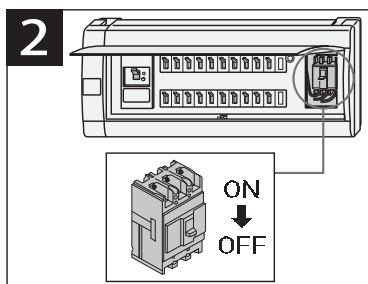
京セラ製

連系運転から自立運転に切り替える



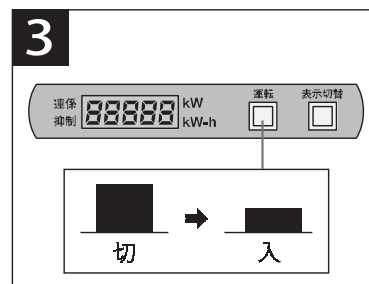
「運転」スイッチを「切」にします

太陽の日射が弱い時に自立運転を行うと電力供給のオン／オフを繰り返したり、停止してしまうことがあります。故障ではありません。しかし、電気製品の故障の原因となりますので、使用を中止してください。



外部のサービスブレーカを「OFF」にします

分電盤、サービスブレーカの形状が、上記の絵と異なる場合があります。また、サービスブレーカは、分電盤の外に設置される場合もありますので、設置場所を事前にご確認ください。



「運転」スイッチを「入」にします

- ・切り替え操作の際は、運転スイッチ「切」から1秒以上おいて「入」にしてください。「切」→「入」の操作時間が1秒以内の場合は「EO」を表示することがあります。
- ・連系運転から自立運転に切り替えたとき、数秒～1分程度たった後に発電を開始します。その間、表示部は“---”を点滅表示し、自立運転待機中であることを示します。
- ・翌日も自立運転を行う場合は、「運転」スイッチを「入」から「切」にして、再度「入」にします。

事故の原因になります。

自立運転専用コンセントに下記に示す電気製品をつながないでください。自立運転時の発電力は天候により急変し、途中で電源が切れる恐れがあります。（すべての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器、パソコン・ワープロ等の情報機器およびその周辺機器、炊飯器・電子レンジ等の調理機器、その他電源が切れると生命や財産に損害を受ける恐れのある機器）